



NEW

NS クルナ (NS Kruna)

ヒマワリ

規格:500g/袋×20袋入

王冠の名を冠した大柄景観緑肥
景観利用だけでなく有機物補給にも
パーティシリウム半身萎凋病の抵抗性に優れる

パーティシリウム半身萎凋病には強い品種ですが、病原菌密度が高い場合は罹病するため発生圃場での栽培を避けてください

主な対象作物



「NS クルナ」に関する
詳しい情報

栽培のポイント

播種期: 5月中旬～7月上旬
7月中旬～8月中旬
※7月中旬以降の播種は開花期に達しないこともあります

播種量: 条播 0.5 kg / 10a
散播 1.0 kg / 10a

播種方法: 条播、散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量: 休閑 N:6～8、P:8～10、K:0～10kg/10a

すき込み期: 開花してから10日程(結実しやすいため)
開花期に至らない場合は10月中

●条播の際は2～3葉期に中耕することで雑草対策が可能です

表、「NS クルナ」の播種時期による開花期の違い

道央(長沼町)				道東(帯広市)			
2020年		2021年		2020年		2021年	
播種期	開花期	播種期	開花期	播種期	開花期	播種期	開花期
5.25	8.2	5.26	8.2	5.21	8.3	5.27	7.31
6.5	8.14	6.8	8.10	6.10	8.17	6.9	8.9
6.14	8.22	6.16	8.22	6.17	8.23	6.17	8.19
6.25	8.27	6.24	8.30	6.24	8.27	6.30	9.1
7.5	9.6	7.6	9.5	7.9	9.7	7.9	9.9
7.15	9.15	7.14	9.13	—	—	7.20	10.9
7.25	10.5	7.26	9.28	7.27	10.4	7.27	10.5
8.10	10.24	—	—	8.7	未開花	—	—

—:未試験

アウエナ ストリゴサ (エンバク野生種)

規格:20kg/袋

キタネグサレセンチュウ対抗植物
土壌病害を軽減
栽培・すき込みが容易

主な対象作物



ジャガイモ



マメ類



野菜類(露地)



野菜類(ハウス)



コムギ

栽培のポイント

播種期: 4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬、
8月下旬～9月上旬(野菜類の後作など)

播種量: 10～15kg/10a
(線虫対策には15kg/10a、9月播種は20kg/10a)

播種方法: 散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量: N:5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期: 7月上旬～8月中旬、10月中旬～下旬

ヘイオーツ



「おとり作物」としてのヘイオーツの利用

緑肥作物の利用は地上部のすき込みによる地力向上目的だけでなく、地下部による物理性の改善、病害軽減効果も期待できます。「おとり作物」としての緑肥作物の利用は、病原菌やウイルスを媒介する菌を根に感染(トラップ)することで、密度を減らし後作物での発病を軽減する効果が期待できます。

アブラナ科根こぶ病

ブロッコリーやキャベツなどのアブラナ科作物に被害をおよぼす根こぶ病に対して「おとり作物」としての利用が可能です。根こぶ病菌の休眠胞子を根に感染させることで胞子の発芽を促し、死滅を早める働きがあります。

※フルスルフアミド剤は根こぶ病菌休眠胞子の発芽を阻害する作用があるため、前作等で使用される場合には、根こぶ病菌の休眠胞子が発芽せず、おとり作物としての機能が十分に発揮されない可能性があります。



ブロッコリーでの根こぶ症状



根毛中の感染の様子

コムギ縞萎縮病

秋播きコムギに発生するコムギ縞萎縮病はウイルス病ですが、土壌生息菌である *Polymyxa graminis* によって媒介され、コムギに感染します。ウイルス寄生範囲はコムギですが、*P.graminis* はヘイオーツにも感染するため、ヘイオーツを「おとり作物」として利用することで発病程度が低い圃場では発病軽減効果が期待できます。

※発病程度が高い圃場では発病軽減効果がないことが確認されていますのでご注意ください。



春先の縞萎縮病発生の様子

エンバク

規格:1kg/袋×20袋入

「スワン」より早生のエンバク

九州沖縄農業研究センターと共同で育成した
サツマイモネコブセンチュウ対抗植物

ハウス栽培後や春先の有機物補給に

サツマイモネコブセンチュウがいないハウスであれば、ヘアーベツ
チ「藤えもん」との混播もおおすすめです

主な対象作物



野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期:露地 8月下旬～9月上旬
越冬ハウス(二重/加温) 11月

播種量:10kg/10a

播種方法:散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a

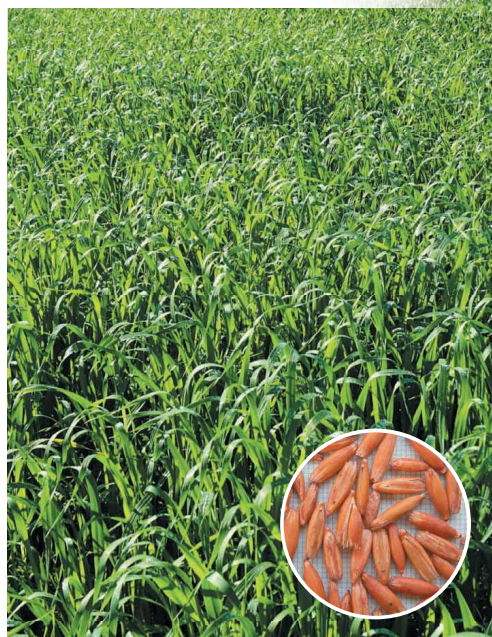
すき込み期:露地 10月、越冬ハウス 翌年3月

スナイパー

PVP 海外輸出禁止
(農林水産大臣公示有)



スワン



エンバク

規格:20kg/袋

早生のエンバク

有機物補給に

春播きは早期に出穂するためご注意ください

栽培のポイント

播種期:7月下旬～8月中旬

播種量:15～20kg/10a

播種方法:散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a

すき込み期:10月中旬～10月下旬

エンバク

規格:22.5kg/袋

初期生育が良好な中生のエンバク

耐倒伏性に優れる直立性の草姿

デンサイ直播栽培の防風・防砂対策、ジャガイモの隔離栽培での利用も可能です

主な対象作物



デンサイ

栽培のポイント

播種期:4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬

播種量:10～15kg/10a
(間作利用は5～8kg/10a)

播種方法:条播、散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a

すき込み期:播種後2か月、出穂前後を目安

R-007 (ウィーラー)



ライムギ

規格:20kg/袋

越冬利用でキタネグサレセンチュウを減らす

越冬利用可能で雪腐病に強く、 早春の土壌流亡抑制にも利用事例あり

ドリフトガードクロップとしても利用可能です

主な対象作物



野菜類(露地) 野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期:年内利用 8月下旬～9月上旬
越冬利用 9月中旬～下旬

播種量:10～15kg/10a
(線虫対策には15kg/10a)

播種方法:散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:4～6、P:5～10、K:0～6kg/10a

すき込み期:年内利用 10月～11月
越冬利用 翌年5月～6月、出穂前後を目安

●ライムギは特に発芽率が低下しやすい草種です
低温低湿度な場所に保管してください

スーダングラス 規格:1kg/袋×20袋入

休閒利用で粗大有機物確保に
キタネグサレセンチュウを減らす
ハウスのクリーニングクロップとして
ドリフトガードクロップとして

主な対象作物



栽培のポイント

播種期:露地 6月~7月、ハウス 5月~8月
播種量:5kg/10a
播種方法:条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量:露地 N:6~10、P:6~10、K:0~10kg/10a、
(ハウスは残肥を利用)
すき込み期:露地 8月~9月、ハウス 7月~10月

ねまへらそう (スーパーダン2)



ソルガム

規格:1kg/袋×20袋入

サツマイモネコブセンチュウ対抗植物
ハウスのクリーニングクロップとして
ドリフトガードクロップとして

主な対象作物



栽培のポイント

播種期:露地 6月~7月、ハウス 5月~8月
播種量:5kg/10a
播種方法:条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量:N:8~10、P:8~12、K:0~10kg/10a、
ハウスは残肥を利用
すき込み期:露地 8月~9月、ハウス 7月~10月

トウモロコシ

規格:5万粒/袋

遊休地の地力向上に利用可能
休閒利用で粗大有機物確保に

栽培のポイント

播種期:5月~6月
播種量:8,000本/10a程度
播種方法:条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量:N:8~12、P:12~16、K:0~12kg/10a
すき込み期:9月~10月

SH9599



ヘアリーベッチ

規格:1kg/袋×20袋入

夏播きで多収なマメ科緑肥

根粒菌による窒素固定で地力増進

初期の雑草抑制や表土の土壌流亡対策に

主な対象作物



栽培のポイント

播種期:5月上旬~6月中旬、7月下旬~8月中旬
播種量:5kg/10a
播種方法:散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量:N:2~5、P:5、K:0~5kg/10a
すき込み期:7月中旬~8月中旬、10月中旬~下旬

まめ助 (ナモイ)



混播セット

(ヘアリーベッチ・エンバク) まめ助 10kg 規格:とちゆたか 6kg

まめ助が耐倒伏性に優れるとちゆたかに
絡まり、草姿が立性になる

8月中旬~下旬でも播種できる

まめ助5kg、とちゆたか3kg/10aの混播セットです
種子は混合されていません

主な対象作物



栽培のポイント

播種期:5月上旬~6月中旬、7月下旬~8月下旬
播種量:計8kg/10a(20a分で16kg包装です)
播種方法:散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量:休閒 N:4~8、P:6~8、K:0~8kg/10a
後作 N:3~6、P:6~8、K:0~6kg/10a
すき込み期:7月中旬~8月中旬、10月中旬~下旬

まめゆたか



ヘアリーベッチ

規格:1kg/袋×20袋入

越冬性と耐湿性に優れる
根粒菌による窒素固定で地力増進
晩生で生育期間が長い
ため
雑草抑制効果が期待できる

開花は春播きと秋播き(越冬後)のみです
播種期が遅れると越冬しない場合があるのでご注意ください

主な対象作物



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期:年内利用 5月上旬～6月中旬
越冬利用 9月

播種量:5kg/10a

播種方法:散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:2～5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期:7月中旬～8月中旬、翌年4月～7月

寒太郎 (サバン)



藤えもん (マッサ)



ヘアリーベッチ

規格:1kg/袋×20袋入

耐湿性と低温伸長性に優れる
根粒菌による窒素固定で地力増進

越冬する場合もあるので、しっかりとすき込んでください

主な対象作物



マメ類



テンサイ



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期:5月上旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬

播種量:4～5kg/10a

播種方法:散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください

施肥量:N:2～5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期:7月中旬～8月中旬、10月中旬～下旬

クリムソクローバ

規格:500g/袋×40袋入

春播きで開花し景観美化に
ダイズシストセンチュウ対抗植物
根粒菌による窒素固定で地力増進

排水不良地やコムギの間作には適しません
夏播き栽培では春播きに比べて線虫密度低減効果が低いです

主な対象作物



マメ類



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期:4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月上旬
(線虫対策には早期播種がポイント)

播種量:2～3kg/10a

播種方法:散播または畝幅20cm程度の密条播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください

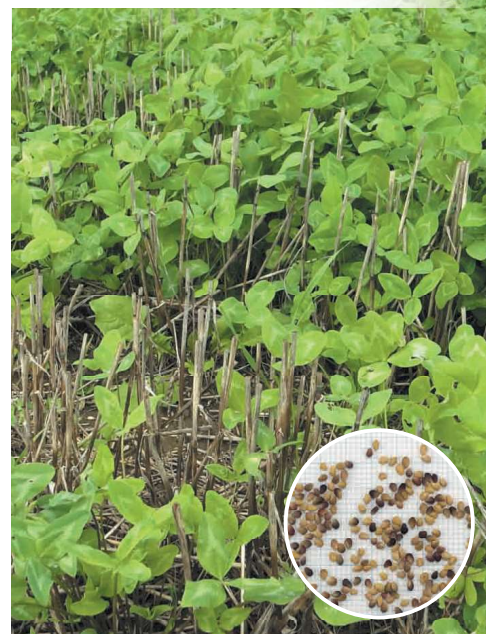
施肥量:N:3～4、P:8～12、K:0～6kg/10a

すき込み期:7月～8月、10月

くれない



メジウム



アカクローバ

規格:1kg/袋×20袋入

遊休農地対策や間作利用が可能
ダイズシストセンチュウ対抗植物
根粒菌による窒素固定で地力増進

コムギ間作は適度に土壌水分があるうちに播種する

主な対象作物



コムギ



ソバ

栽培のポイント

播種期:休閑 5月～6月
コムギ間作 4月、ソバ間作 6月

播種量:休閑 2～3kg/10a、
コムギ間作 3～4kg/10a、ソバ間作 3kg/10a

播種方法:散播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください

施肥量:休閑 N:2～4、P:8～12、K:0～5kg/10a
コムギ間作 N:0～2、P:0～5、
(ソバ間作はソバの施肥に合わせる)

すき込み期:9月～10月

カラシナ

規格:1kg/袋×20袋入

辛み成分を高含有する品種
土壌病害被害の軽減

周囲にアブラナ科野菜がある場所は、栽培を避けてください
ハウス利用は細断・すき込み後に十分灌水してください

主な対象作物



栽培のポイント

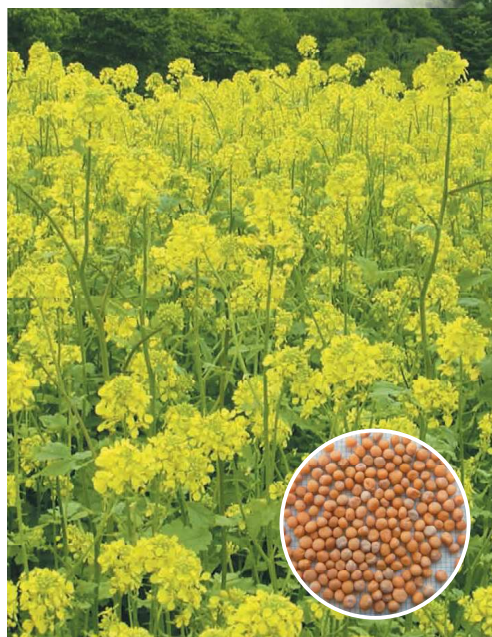
播種期: 露地 5月、8月(夏播きはできるだけ早めに)
ハウス 2月~4月、8月
播種量: 1.0~1.5kg/10a(コート種子)
播種方法: 条播、散播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください
施肥量: N:8~10、P:5~10、K:0~7kg/10a
すき込み期: 着蕾から開花始の莖葉部の多い時期

辛神

PVP 海外輸出禁止
(農林水産大臣公示有)



キカラシ (メテックス)



シロガラシ

規格:1kg/袋×20袋入

黄色い花を咲かせる景観緑肥
発芽や初期生育が特に良好
炭素率が低く分解が早い

周囲にアブラナ科野菜がある場所は、栽培を避けてください
排水不良地での栽培は避けてください

主な対象作物



栽培のポイント

播種期: 4月下旬~6月中旬、7月下旬~8月下旬
播種量: 2~3kg/10a
播種方法: 条播、散播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください
施肥量: N:5~8、P:5~10、K:0~7kg/10a
すき込み期: 6月下旬~7月下旬、10月

ハゼリソウ

規格:1kg/袋×20袋入

景観美化と蜂寄せに
雑草抑制や土壌流亡対策に

長ネギの前作利用で品質向上と増収の事例があります(都府県)

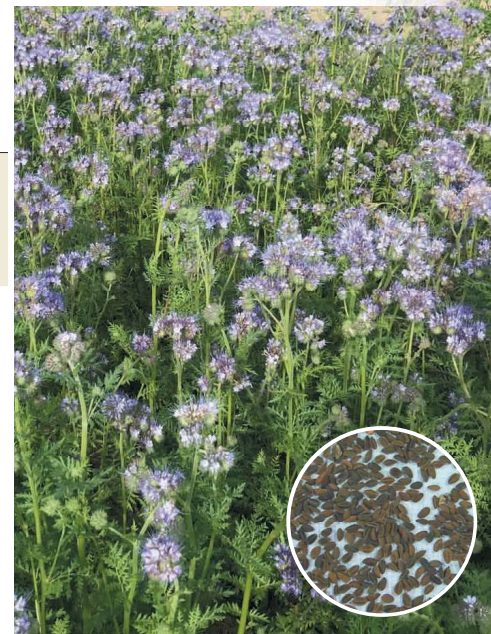
主な対象作物



栽培のポイント

播種期: 5月~6月
播種量: 2~3kg/10a
播種方法: 散播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください
施肥量: N:5、P:5、K:0~5kg/10a
すき込み期: 開花後

アンジェリア



ソラヌム ペルウィアヌム (トマト野生種)

規格:1kg/袋×20袋入

ジャガイモシストセンチュウ対抗植物
春播きの方が生育は良好で
線虫密度低減効果が高い

エアシーダー利用の場合は320~460g/10aの播種量でも線虫密度低減効果が確認されています(天候不順年や野良イモ、雑草の影響により効果が十分得られない場合があります)

主な対象作物



栽培のポイント

播種期: 6月中旬~7月上旬(遅霜を避ける)
8月(夏播きはできるだけ早めに)
播種量: 0.7~1.0kg/10a
播種方法: 散播、密条播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください
施肥量: NPKで各8~10kg/10a前後
すき込み期: 播種後60~80日を目安

ポテモン

PVP 海外輸出禁止
(農林水産大臣公示有)

生産量に限りがあり、供給できないことがあります

